



2021年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年1月7日

上場会社名 株式会社ドーン

上場取引所 東

コード番号 2303 URL <https://www.dawn-corp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎正伸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼管理部長 (氏名) 近藤浩代

TEL 078-222-9700

四半期報告書提出予定日 2021年1月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第2四半期の業績(2020年6月1日～2020年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	449	2.9	119	11.8	122	10.8	84	7.6
2020年5月期第2四半期	436	36.0	107	568.2	110	488.2	78	518.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	26.43	
2020年5月期第2四半期	24.62	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第2四半期	1,895	1,728	91.1
2020年5月期	1,883	1,660	88.1

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 1,728百万円 2020年5月期 1,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期		0.00		10.00	10.00
2021年5月期		0.00			
2021年5月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,100	4.8	330	13.8	333	13.3	226	13.0	70.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4)四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期2Q	3,300,000 株	2020年5月期	3,300,000 株
期末自己株式数	2021年5月期2Q	100,407 株	2020年5月期	108,183 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期2Q	3,194,105 株	2020年5月期2Q	3,186,233 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記の予想の前提条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年6月1日から2020年11月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により停滞していた経済活動が各種施策の効果もあり再開されつつあるものの、感染収束時期の目途が立たないことから影響の長期化が懸念され、先行き不透明な状況で推移しております。

このような環境において、当社は、引き続き防災・防犯・救急といった安心・安全に係わる分野を中心に地方自治体等に対してクラウドサービスやGIS関連の受託開発の受注獲得に努め、なかでも全国の消防本部等に向けて「NET119緊急通報システム」や当事業年度より提供を開始した映像通報システム「Live119」を積極的に提案いたしました。

また、感染症対策として非接触やリモートによる住民サービスの導入を進める地方自治体において「Live119」の機能を応用した映像通話システム「LiveX」の実証実験を開始する等、新たな需要への対応にも取り組みました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高につきましては、前年同四半期と比較してライセンス売上の減少に加え、受託開発の納期が第3四半期以降に集中し、当会計期間に納期が到来した案件が少なかったことから受託開発売上が減少しましたが、クラウドサービスの利用料収入の増加により、449,688千円(前年同四半期比2.9%増)となりました。

利益につきましては、売上高の増加及び売上高総利益率が4.4ポイントアップしたことにより、営業利益は119,722千円(前年同四半期比11.8%増)、経常利益は122,282千円(前年同四半期比10.8%増)、四半期純利益は84,413千円(前年同四半期比7.6%増)となりました。

なお、当社事業は顧客の決算期が集中する3月に売上計上される受注が多いため、第4四半期会計期間に売上高が偏重する傾向があることから、各四半期の業績に季節変動があります。

また、当社は地理及び位置情報事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、1,895,995千円となり、前事業年度末と比較して12,475千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が242,006千円、投資有価証券が29,989千円それぞれ減少した一方で、金銭の信託が200,000千円、仕掛品が45,996千円、売掛金が28,370千円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、167,861千円となり、前事業年度末と比較して55,533千円の減少となりました。これは主に、未払消費税等が25,608千円、未払法人税等が20,025千円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、1,728,134千円となり、前事業年度末と比較して68,009千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が52,495千円、資本剰余金が14,791千円それぞれ増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて62,006千円減少し、466,701千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果支出した資金は、39,968千円(前年同四半期比17,560千円増)となりました。これは主に、税引前四半期純利益が122,282千円あった一方で、法人税等の支払額が57,213千円、たな卸資産の増加額が45,949千円、売上債権の増加額が28,370千円、未払消費税の減少額が25,608千円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果獲得した資金は、9,762千円(前年同四半期比31,826千円減)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が20,000千円あった一方で、有価証券の償還による収入が30,000千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果支出した資金は、31,800千円(前年同四半期比8,013千円増)となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の業績予想につきましては、2020年7月9日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,548,708	1,306,701
売掛金	84,839	113,209
金銭の信託	-	200,000
商品	-	165
仕掛品	10,144	56,141
貯蔵品	2,366	2,153
その他	17,009	21,621
貸倒引当金	△84	△113
流動資産合計	1,662,983	1,699,880
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,906	3,724
工具、器具及び備品(純額)	4,964	4,189
有形固定資産合計	8,871	7,913
無形固定資産		
ソフトウェア	1,569	873
無形固定資産合計	1,569	873
投資その他の資産		
投資有価証券	163,883	133,894
その他	46,212	53,434
投資その他の資産合計	210,095	187,328
固定資産合計	220,536	196,115
資産合計	1,883,519	1,895,995

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,144	14,138
未払法人税等	63,329	43,303
未払消費税等	33,652	8,043
賞与引当金	-	8,807
その他	53,844	45,893
流動負債合計	169,970	120,186
固定負債		
長期未払金	19,965	19,965
その他	33,459	27,709
固定負債合計	53,424	47,674
負債合計	223,394	167,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,950	363,950
資本剰余金	366,314	381,105
利益剰余金	939,806	992,302
自己株式	△10,518	△9,809
株主資本合計	1,659,552	1,727,548
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	572	585
評価・換算差額等合計	572	585
純資産合計	1,660,125	1,728,134
負債純資産合計	1,883,519	1,895,995

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年6月1日 至2020年11月30日)
売上高	436,973	449,688
売上原価	150,095	134,577
売上総利益	286,877	315,111
販売費及び一般管理費	179,797	195,388
営業利益	107,079	119,722
営業外収益		
受取利息	50	30
受取配当金	8	8
有価証券利息	1,520	630
助成金収入	1,387	1,639
その他	306	250
営業外収益合計	3,274	2,560
経常利益	110,354	122,282
特別利益		
投資有価証券売却益	3,399	-
特別利益合計	3,399	-
税引前四半期純利益	113,754	122,282
法人税等	35,321	37,869
四半期純利益	78,432	84,413

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年6月1日 至2020年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	113,754	122,282
減価償却費	2,247	1,984
貸倒引当金の増減額(△は減少)	40	28
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,987	8,807
受取利息及び受取配当金	△58	△39
有価証券利息	△1,520	△630
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,399	-
売上債権の増減額(△は増加)	△40,366	△28,370
たな卸資産の増減額(△は増加)	△57,550	△45,949
仕入債務の増減額(△は減少)	5,041	△5,006
未払金の増減額(△は減少)	519	△452
預り金の増減額(△は減少)	△1,231	△571
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,777	△25,608
前受収益の増減額(△は減少)	△5,509	△8,186
長期未払金の増減額(△は減少)	△7,465	-
その他	2,559	△1,742
小計	11,270	16,544
利息及び配当金の受取額	2,187	700
法人税等の支払額	△35,865	△57,213
営業活動によるキャッシュ・フロー	△22,408	△39,968
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△20,000
有価証券の償還による収入	58,000	30,000
有形固定資産の取得による支出	△1,578	△237
投資有価証券の取得による支出	△20,563	-
投資有価証券の売却による収入	3,400	-
貸付金の回収による収入	2,332	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	41,589	9,762
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△52
配当金の支払額	△23,786	△31,747
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,786	△31,800
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,605	△62,006
現金及び現金同等物の期首残高	378,724	528,708
現金及び現金同等物の四半期末残高	374,119	466,701

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。